

総合交通計画に基づく
施策の推進について

◆石巻市総合交通計画の概要



本市では、平成27年度に「石巻市総合交通戦略」を策定し、各種取組を進めてきましたが、令和2年11月、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」が改正され、公共交通に関連する制度が大きく見直されたほか、本市においても各種復興事業が概ね完了したことなど、戦略策定時から公共交通を取り巻く情勢等が大きく変化していることを踏まえ、令和2年度から令和3年度にかけて内容の見直しを行い、令和4年度から令和8年度までの5年間の計画期間とする「石巻市総合交通計画」を新たに策定しました。

◆施策展開の方向性

石巻市総合交通計画では前述した課題を含めた9つの課題を踏まえ、基本方針と、本市の公共交通のあるべき姿を示すとともに、3つの基本目標を掲げています。

■石巻市の公共交通の基本的な方針

- ①高齢者や若者、子育て世代や障がいのある方など、誰もが生活する中で公共交通を利用して移動することができ、さまざまな生活活動の基盤を支える公共交通ネットワークの実現を目指します。
- ②また、市内だけではなく市外との連携の維持・強化を支えることで、多様な交流を促し、まちの更なる活性化を後押しする公共交通ネットワークの構築を目指します。
- ③公共交通だけではなく、他の分野との連携や、地域・企業等とも連携を図りながら、積極的に公共交通を活用する基盤づくりを進め、また、低炭素社会の実現や市民の健康増進等に寄与することで、公共交通として、及び都市としての持続性の向上を目指します。
- ④これらを達成することで、安全・安心・快適で上質な公共交通ネットワークを構築するとともに、デジタル技術なども活用し、発展的なサービスの提供など、未来に向けた持続可能な公共交通サービスの実現を目指すこととし、これを本市の基本的な方針とします。

◆施策展開の方向性

■石巻市の公共交通のあるべき姿

未来に向けた持続可能な公共交通サービスの実現



■基本目標

目標1:日常の移動手段として選ばれる公共交通

○公共交通システム全体の利便性の維持・向上を図ることにより、市民の移動ニーズに対応可能なネットワークを構築するとともに、案内・情報などのわかりやすさ・利用しやすさを向上し、市民の日常生活の移動手段として“選ばれる”公共交通を目指します。

目標2:まちの営みと賑わいを支える公共交通

○市内外の活発な交流を支えるとともに、市街地などの都市機能への集積に合わせて、市街地へのアクセス性や回遊性を維持・向上し、市民等におけるさまざまな活動と活発な交流を支える公共交通体系を構築し、まちの営みと賑わいを支える公共交通を目指します。

目標3:さまざまな連携により戦略的に活用される公共交通

○地域住民や企業などのさまざまな主体や、都市計画や土地利用政策など交通以外の分野と戦略的に連携することにより、多様な場面・属性・エリアなどにおいて公共交通が機能的かつ戦略的に活用され、さまざまな分野の基盤を支える公共交通を目指します。

◆施策展開の方向性

また、基本目標に紐づくものとして、5つの施策展開の方向性、10の具体施策を位置付けており、今後5年間にわたって各施策を推進することとしています。

施策展開の方向性(総合交通計画 P.42-43)



◆石巻市地域交通再編等支援業務

石巻市地域交通再編等支援業務委託

業務計画書

令和4年6月

KCS
Knowledge Consulting for Solution

株式会社ケー・シー・エス 東北支社

石巻市総合交通計画に掲げた各施策の推進に当たっては、地域公共交通に関する法令等との整合性を図りつつ、社会情勢や地域の抱える課題への対応や、交通事業者や地域住民との意見調整などが必要となることから、地域交通に対する専門性を有する事業者からの技術的・人的な支援を得ることを目的に、本業務を発注しております。

【契約概要】

業務名 : 石巻市地域交通再編等支援業務

対象地域 : 石巻市全域

履行期限 : R4.6.3～R5.3.31

発注者 : 石巻市

受注者 : 株式会社ケー・シー・エス東北支社

◆令和 4 年度重点的に取り組む施策

- 1 運行情報のオープンデータ化・公表と更新体制の確立
- 2 公共交通や拠点等に係る位置付け・役割等の設定及び見直し
- 3 運行本数の拡大若しくは縮小に向けた見直し
- 4 運賃制度の見直し
- 5 待合環境の見直し
- 6 学校・企業等と連携したモビリティ・マネジメントの展開
- 7 市民との意見交換会の実施

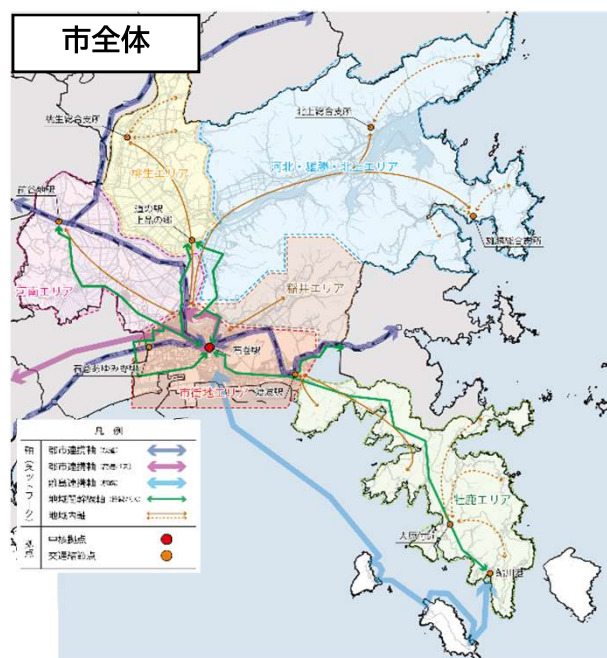
1 運行情報のオープンデータ化・公表と更新体制の確立

項目	内容
事業概要	<p>○住民や来訪者等が公共交通の経路検索をしやすくし、利用の促進につなげるため、公共交通に関する運行情報等データ化を進めるとともに、市のHPなどでGTFSデータの公表を行います。</p> <p>○更新したデータについては、主要な経路検索コンテンツのプロバイダーに対して情報共有を図り、コンテンツへの反映を進めます。</p> <p>○運行情報の可視化による検証・分析への活用や、バスマップやサイネージなどのツール作成への活用等を行います。</p>
実施主体	交通事業者、石巻市

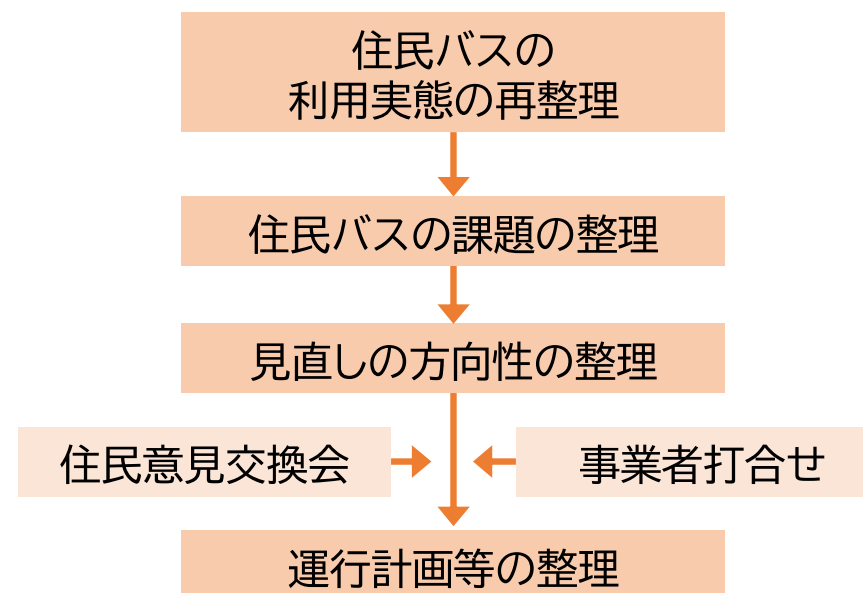


2 公共交通や拠点等に係る位置付け・役割等の設定及び見直し

項目	内容
事業概要	○市民や来訪者などが市街地で移動しやすく、また市街地へアクセスしやすい利便性の高い公共交通ネットワークを構築するため、河北地区・雄勝地区、北上地区の3地区における住民バスの路線、ダイヤ等の総合的な見直しを行います。
実施主体	石巻市、ミヤコーバス、住民バス等運行協議会



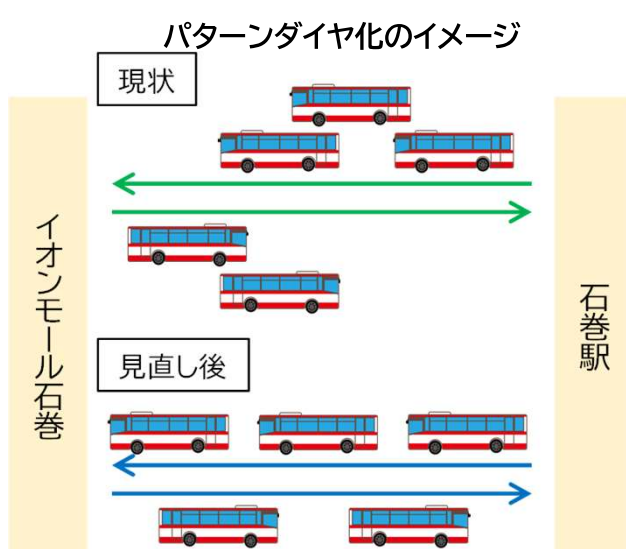
公共交通ネットワークのイメージ



検証の進め方

3 運行本数の拡大若しくは縮小に向けた見直し

項目	内容
事業概要	<p>○市街地において複数の路線が運行する区間では、運行間隔の平準化や、決まった時間での運行ダイヤに揃える（パターンダイヤ）など、利用者にとってわかりやすいダイヤへの見直しを進めます。</p> <p>○通勤通学を考慮した経路やダイヤ設定を行い、社会人や学生の利用者拡大に向けた見直しを進めます。</p> <p>○夕方以降の時間帯での運行の拡大や、住民バスの路線再編に伴い重複する路線の見直しを進めます。</p>
実施主体	石巻市、ミヤコーバス、住民バス等運行協議会



検討・整理の進め方(想定)

項目	概要
対象区間	石巻市街地（複数路線が重複する区間） ※概ね日赤病院～石巻駅、石巻あゆみ野駅～石巻駅、イオンスーパーセンター～石巻駅の区間を想定
検討方法等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実績の分析によるダイヤ調整等による影響の少ない時間帯の整理（朝の時間帯等を避ける） ・対象区間における運行間隔の整理 ・対象とする区間の設定 ・運行ダイヤの調整 ・交通事業者との協議・調整
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の時間帯などは市街地などへの移動需要が集中することが想定され、ダイヤの変更により利便性の低下に繋がる懸念があることに留意が必要

4 運賃制度の見直し

項目	内容
事業概要	<p>○市街地内などの特定の区間における均一制運賃の導入や、市内全域での上限運賃の設定などの導入を検討します。</p> <p>○高齢者や免許返納者など、移動に制約を抱える市民の公共交通の利用促進を図るため、企画乗車券の導入や運賃割引制度の導入を検討します。</p>
実施主体	石巻市、ミヤコーバス、住民バス等運行協議会

検討・整理の進め方(想定)

項目	概要
上限運賃の検討	<p>○上限500円・600円・700円・800円・900円・1000円とした場合の検討</p> <p>○対象：河北線・鮎川線・河南線・女川線・石巻専修大学線</p>
まちなか運賃の検討	<p>■骨格路線</p> <p>○運賃200円均一・150円均一</p> <p>○対象：鹿妻線・石巻免許センター線・蛇田線</p> <p>■中心市街地内</p> <p>○運賃100円均一・50円均一</p> <p>○対象：石巻駅～いしのまき元気市場～中央三丁目間</p>
乗り継ぎ利用時の運賃	○通し運行時と同程度の運賃となるように、乗り継ぎ割引を設定
石巻市内1日乗車券	<p>○石巻市内全域の1日乗車券</p> <p>○石巻エリアの1日乗車券</p>
割引運賃・フリーパス	<p>○高齢者向け市内フリーパス</p> <p>○平日昼間割引</p>

5 待合環境の見直し

項目	内容
事業概要	○公共交通の乗降場所への誘導サインや標識などの充実を図るため、市の作成する公共サイン等に係る有識者等も交えてデザインの基準や設置基準などに関するガイドラインを作成する（デザインの検討にあたっては、見やすさ・わかりやすさに配慮して、ユニバーサルデザインに基づくフォントや色彩等を活用する。）。
実施主体	交通事業者、石巻市

ガイドラインに基づくサインシステム



出典：国土交通省ウェブサイト
 (<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/content/001475252.pdf>) より抜粋

ガイドラインの記載項目(想定)

項目	概要
誘導サインの掲出高さ	表示面の高さの基準など
誘導サインの言語数	多言語表記する際の言語（二か国程度を想定）
誘導サインの文字の大きさ	文字サイズの大きさ・間隔の基準など
本体色	配色パターン等、カラーユニバーサルデザインの配慮など
明度差	文字の視認性をあげるためのコントラストの設定など
配置場所	配置箇所・設置位置など
書体	フォント、ふりがな、名称標記の基準など
ピクトグラムの有無	ピクトグラムの有無、配置場所など
その他	※必要に応じて追加

6 学校・企業等と連携したモビリティ・マネジメントの展開

項目	内容
事業概要	<p>○市民等における公共交通利用への自発的な転換を促すため、高校や大学、一般企業、地域団体等と連携したモビリティマネジメントを実施することで低炭素社会の実現や市民の健康増進を図ります。</p> <p>○また、先行して「石巻市役所」の職員を対象とした、モビリティ・マネジメントを実施します。</p>
実施主体	石巻市、学校、企業、地域、その他

出典：国土交通省ウェブサイト
 (https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/content/ecocommuter_leaflet2020_A3.pdf)

公共交通チャレンジデー関係新聞切り抜き

7 市民との意見交換会の実施

項目	内容
事業概要	○高校生や高齢者、障がいのある方、子育て世代などのさまざまな属性等において、それぞれが抱える課題等を把握するため、公共交通の運行や利用環境、情報提供などのテーマを変えながら意見交換を行います。
実施主体	石巻市、学校、企業、地域、その他

フィールドワーク風景



ワークショップ風景

意見交換の開催概要(案)

項目	概要
目的	○今年度検討する具体的な取組の検討に当たり、方向性等を整理した上で、それらに対する住民意向等を把握するためにワークショップを開催する。
対象	○大学生、高校生、高齢者、障がい者など（団体等への声掛けで招集することを想定）
実施方法	○会場（市役所など）へ招集し対面形式で実施 ○複数の属性が混ざったグループを構成し、ワークショップ形式で実施（3～4グループ程度・1グループ4～5人程度）
その他	○団体等への連絡は市から実施

◆実施スケジュール

実施項目	令和4年								令和5年		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 運行情報のオープンデータ化・公表と更新体制の確立											
①GTFSデータの作成及び公開		■	■	■	■	■	■	■			
2 公共交通や拠点等に係る位置付け・役割等の設定及び見直し											
①運行経路の作成		■	■	■	■						
②ダイヤシミュレーションの作成			■	■	■	■	■				
③デマンド運行導入に向けた検討		■	■	■	■	■	■				
④交通事業者との打合せ		●	●	●	●	●	●	●			
3 運行本数の拡大若しくは縮小に向けた見直し											
①変更ダイヤの検討		■	■	■	■	■	■	■			
②交通事業者との打合せ		●	●	●	●	●	●	●			
4 運賃制度の見直し											
①均一運賃の検討		■	■	■	■	■	■				
②免許返納者に対する補助や企画乗車券の検討					■	■	■	■	■		
5 待合環境の見直し											
①ガイドラインの作成					■	■	■				
6 学校・企業等と連携したモビリティ・マネジメントの展開											
①職員を対象にしたMMの実施			■	■	■	■	■	■			
②一般企業への展開に向けた検討								■	■	■	
7 市民との意見交換会の実施											
①ワークショップの開催 ほか								■	■	■	
地域公共交通活性化協議会			●					●	◎		